

糖尿病とうまく付き合うための「糖尿病地域連携」

糖尿病は、すぐに命に関わる病気ではありませんが、全身の血管がもろくなって網膜症や神経障害、腎臓病など、生活に支障をきたす合併症を起しやすい病気です。しかし、残念ながら糖尿病は自覚症状がないため、知らない間に悪化してしまっていることがよくあります。

そうならないためには、かかりつけ医によるきめ細やかな診察を受けることがとても大事です。合併症の早期発見にも繋がります。

糖尿病地域連携は、かかりつけ医と専門病院(宮崎病院)の医師が、患者さんの情報を共有し協力して糖尿病治療をサポートするものです。患者さんには、検査データや治療内容が記入できる「糖尿病連携手帳」をお渡しします。

かかりつけ医



日常の通院
★血糖コントロールが安定するように管理を行う
【診療の一例】
・お薬の処方
・血液検査や尿検査
・日常生活指導
・合併症の治療など

宮崎病院



教育入院・精密検査
★糖尿病教育入院・合併症検査・インスリン導入などを行う
【診療の一例】
・合併症の定期精密検査
・コントロール不良時の治療や指導
・栄養指導やフットケア

紹介・逆紹介

情報の共有

定期受診

定期受診

【糖尿病連携手帳】

- ・受診の時には、持って行きましょう。
- ・医療機関で記入してもらえますが、自分でも気づいたことを記録してみましょう。

(患者用)